学校番号	412

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学演習Ｃ	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	クリアー数学Ⅱ＋B クリアー数学Ｃ						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業には各回で扱う単元の基礎知識を事前に復習し，理解してから臨むようにしましょう。
・授業中は板書を書き写すだけではなく，授業のポイントや自分が気付いたことをノートの枠外にメモをとる習慣を身につけてください。
・授業を受けた後は授業内で得た知識を定着できるよう意識して復習しましょう。
授業内容等でわからないところがあれば，気軽に質問に来てください。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
単元ごとの基礎知識を身につけ，その知識を用いた計算を正確に行うことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
客観方式の問題に慣れ，問題に対してどの基礎知識を用いるのかを判断できる能力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
問題を解けるだけではなく，問題を解く過程において数学のよさを認識し、数学的論拠まで理解できるようになる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・具体的な問題演習を通して各単元の概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身につけている。	・日常の事象や社会の事象を数式や表・グラフを用いて数学的に表現することができる。 ・問題文を読解し、事象を数学的に考察したり，問題解決のためにどの基礎知識が適切であるかを判断したりすることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしている。 ・粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期		数と式 恒等式・割り算の問題 方程式・不等式の解法 関数とグラフ 最大・最小 2次方程式の理論 種々の方程式の問題	a:　基本的な概念や定義・定理を理解し，知識を身に付けている。 b:　数学的な表現ができる。 事象を数学的に捉え、論理的に思考・判断することができる。 c:　問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 発問評価	レポート 発問評価 授業態度
		不等式の種々の問題 式の値，二項定理 等式・不等式の証明 点と直線 曲線と直線 軌跡 領域 図形と式の種々の問題		定期考査 小テスト	定期考査 レポート 発問評価	レポート 発問評価 授業態度
2学期		三角関数 指数・対数の計算 指数・対数の種々の問題 導関数、接線 関数の増減・極値 最大・最小(微分法) 方程式・不等式への応用	a:　基本的な概念や定義・定理を理解し，知識を身に付けている。 b:　数学的な表現ができる。 事象を数学的に捉え、論理的に思考・判断することができる。 c:　問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 発問評価	レポート 発問評価 授業態度
		積分の計算 定積分で表された関数 面積 等差数列・等比数列 種々の数列 漸化式と数列 数学的帰納法		定期考査 小テスト	定期考査 レポート 発問評価	レポート 発問評価 授業態度

3 学 期		数列の応用 ベクトルの基本 ベクトルと内積 ベクトルと平面図形 ベクトルと空間図形	a:　基本的な概念や定義・定理を理解し，知識を身に付けている。 b:　数学的な表現ができる。 事象を数学的に捉え、論理的に思考・判断することができる。 c:　問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。 粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート 発問評価	レポート 発問評価 授業態度

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度